

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

2. 整備事業

I 産地競争力の強化に向けた取組用

(秋田県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メ ニ ュー  (対象 作物・ 畜種等 名) ①	成果目標の 具体的な内 容	事業実施後の状況①					成果目標 の具体的 な実績	事業内容  (工種、 施設区 分、構 造、規 格、能力	事業費  (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の 評価	都道府県の評価	備考	
				被災前 22年 度	1年後 (平成 23年)	2年後 (平成 24年)	3年後 (平成 25年)	目標値 (平成 25年)				達成率	交付金	都 道 府 県 費	市 町 村 費					その他
横手市	秋田ふ るさと 農業協 同組合	水稲 (あま こめ んこ いな)	受益地区の 集約化を進 め、カント リーエレ ベータの処 理量を被災 前に比べ概 ね同程度以 上に復旧  処理能力： 2,500 t 稼働率： 72% 1,800 t ÷ 2,500t = 72%	1,567t	1,756t	1,503t	1,671t	1,800t	92.8%	被験乾燥 調製貯蔵 施設 被災した 4本のサイ ロを被災 前の状態 に復旧す るため、サイ ロのクラ ック修繕 を実施	4,203,250	2,001,000	0	0	2,202,250	H23.9.21	事業導入後、 被災前より100t 上回る処理量を 達成できたが、 目標達成には 至っていない。 今後も、CE 利用者協議会と 連携し、既利用 者の利用拡大や 新規利用者の確 保を図るととも に、JAのCE について品種等 の集約、JA内 他施設との連携 により施設運用 の効率化を図る ことにより、処 理量を増大させ 目標達成に努め ていきたい。	事業実施後、 被災前を上回る 処理量となっ ているが、目標 値には達してい ない。 今後も、処理 量の増大向け て、CE利用の メリットPR等 による新規利用 者の確保や既利 用者の利用拡大 を図るととも に、JA管内の CEについて、 品種の集約化や 他施設との相互 連携強化による 施設運用の効率 化を図り、目標 達成できるよう 指導する。		

都道府県平均 達成率	92.8%	被災したサイロのクラック修繕を実施したことにより、処理量は被災前と同等以上に回復しているが、成果目標の処理量は達成できていない。 今後は、JAとCE利用者協議会が連携しながら、CE利用のメリットPR等による新規利用者の確保や既利用者の利用拡大を強化するとともに、JA管内のCEについて、品種の集約化や他施設との相互連携強化による施設運用の効率化を図るなど、成果目標の早期達成に向けた取り組みをより一層強化する必要がある。
---------------	-------	---

- (注) 1 別紙様式 1 号の 2 の I に準じて作成すること。  
 2 要領第 1 の 1 の (2) のアから(ウ)の場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。